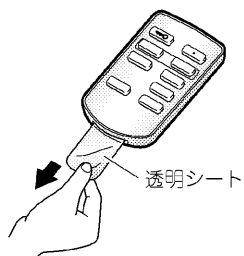
4 リモコンの準備

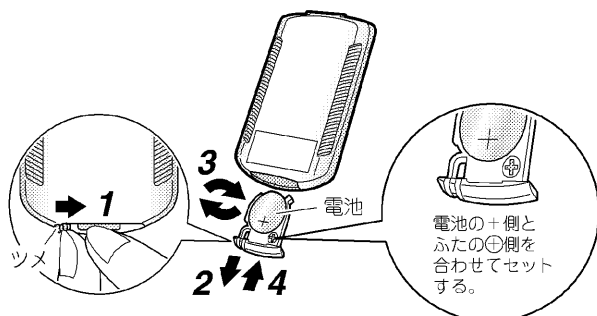
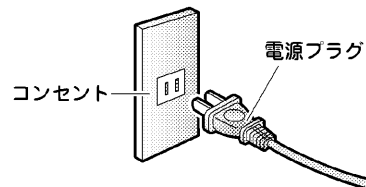
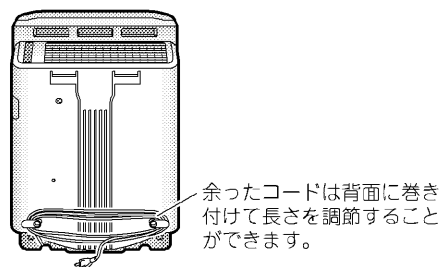
■電池はあらかじめリモコンにセットされています。

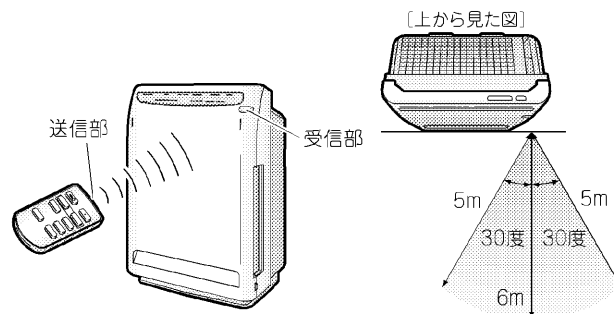
- 透明シートを引き抜くだけで、ご使用いただけます。

■電池交換のしかた

1 **リモコン裏面のふたのツメを矢印の方向に寄せる。**

2 **ふたを引き出す。**

3 **電池を入れ替える。**

4 **ふたをもとどおり閉める。**

5 電源プラグをコンセントに差し込む

- ニオイセンサーの感度基準は、電源プラグを差し込んだ直後の運転で決定します。
  お部屋に強いニオイがない状態で運転を開始してください。

■使いかた

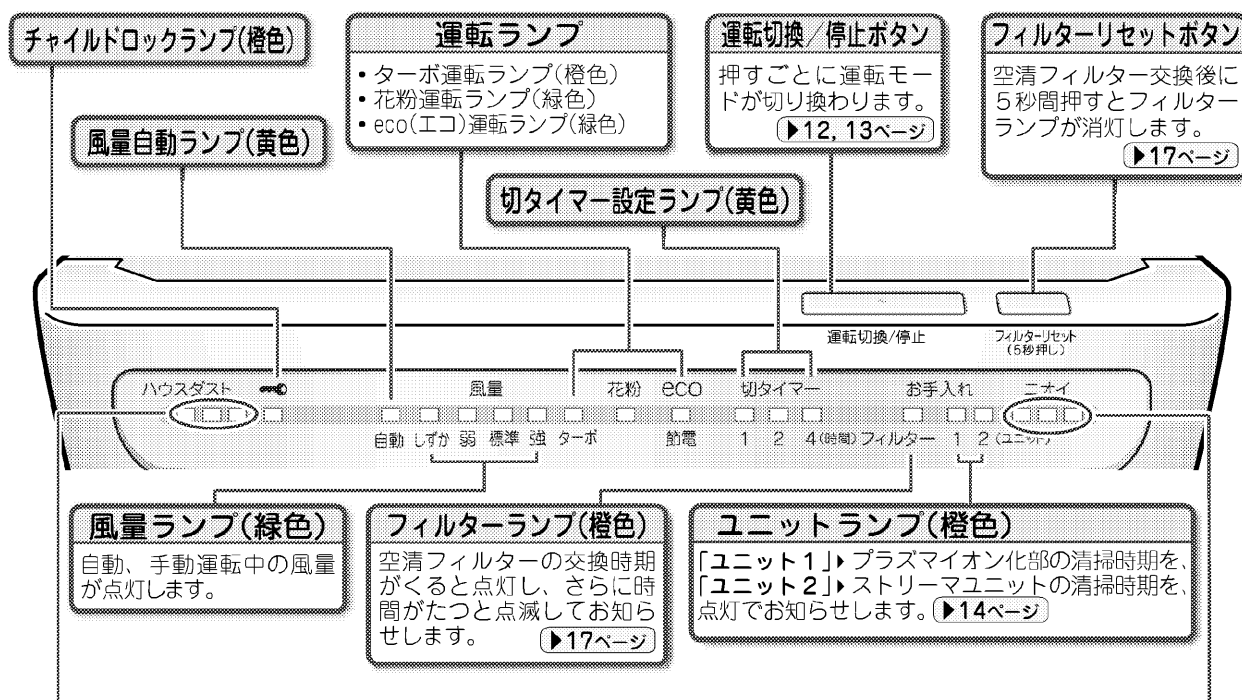
- リモコンの送信部を本体の受信部に向けてください。カーテンなど信号をさえぎるものがあると受信しないことがあります。
- 送信できる距離は直線で約６ｍです。

電池について

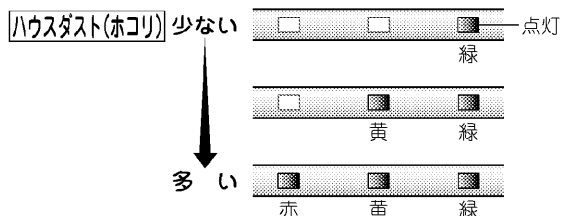
- 電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。
  万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
- 電池を廃棄するときは、端子にテープなどを巻き付けて絶縁してください。
  (他の金属や電池と混じると、発熱・破裂・発火の原因)
- ボタン電池は不燃物ゴミとして処分してください。詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしたがってください。
- 交換の目安は約１年ですが、受信されにくくなりましたら、新しいボタン電池(CR2025)と交換してください。
- ボタン電池の「使用推奨期限」に近いものは、交換時期が早くなる場合があります。
- 液もれや破裂による故障やけがを避けるため、長期間ご使用にならない場合はボタン電池を取り出してください。
- 付属のボタン電池は、最初にご使用いただくために用意しているもので、１年に満たないうちに消耗することがあります。

リモコンについて

- リモコンを落としたり、中に水が入らないようにしてください。(故障の原因になります。)
- 電子式点灯方式の蛍光灯(インバーター蛍光灯など)がある部屋では、信号を受け付けにくい場合があります。
- 照明器具の近く(1m以内)で使用しないでください。(リモコンの受信感度の低下、変色の原因になります。)

本体表示部の名前と働き

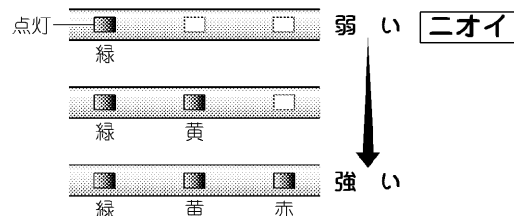
本体表示部

空気の汚れ具合やニオイの変化を感知して、緑・黄・赤の3色の点灯で汚れやニオイのレベルをお知らせします。

● 緑表示の場合は、空気がきれいな状態です。

<ハウスダスト（ホコリセンサー）ランプ>

<ニオイセンサーランプ>

■**次の場合、最初の７秒間は空気の汚れに関係なく緑色のランプのみ点灯します。**
① 前面パネル・ユニット１を取り付けた直後の運転
② 電源プラグを差し込んだ直後の運転

■ ホコリセンサーの感度が悪い場合は、感度設定を変更してください。▶11ページ

■ 粒子の大きさにより設置位置でホコリセンサーの反応が低くなることがあります。
気になる場合は、本体の設置位置を変更してみるか▶8ページ、ホコリセンサーの感度設定を変更してください。▶11ページ

■**次の場合、最初の1分間は緑色のランプのみ点灯し、この状態をニオイセンサーの感度の基準値とします。**
① 前面パネル・ユニット１を取り付けた直後の運転
② 電源プラグを差し込んだ直後の運転

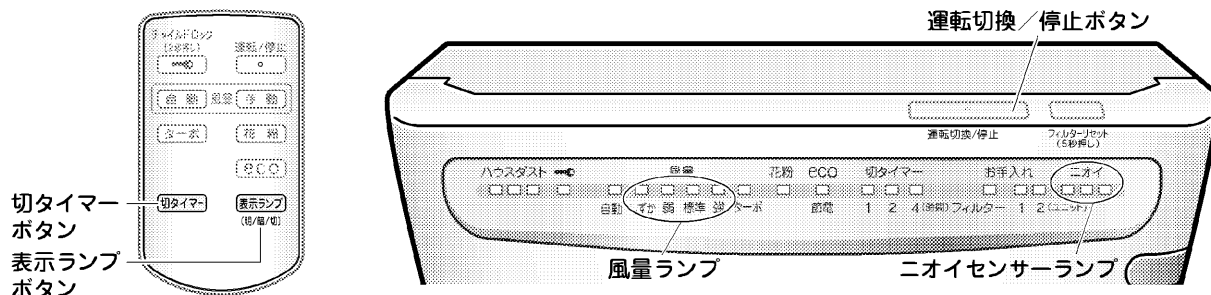
■ ニオイの強弱が変わらず一定の場合は、ニオイが強い場合でも反応しないことがあります。

■ アンモニア以外のペット臭、ニンニク臭など、ニオイの種類によっては、反応しないことがあります。

■ ニオイの感じかたには個人差がありますので、表示が緑に戻ってもニオイを感じる場合があります。
ニオイが気になる場合は、風量手動運転に切り換え、風量を強くして運転してください。

センサーの種類と性質

	感知します	感知することがあります
ホコリセンサー	ハウスダスト、タバコ煙、花粉、ダニ、ペットの毛、ディーゼル粉塵	湯気、油煙
ニオイセンサー	タバコ臭、料理臭、ペット臭、トイレ臭、生ゴミ臭、カビ臭、スプレー類、アルコール	急激な温度・湿度の変化、一酸化炭素などの無臭ガス、湯気、油煙、燃焼機器から出るガス

各種設定（ホコリセンサーの感度設定／ストリーマの出力設定）

ホコリセンサーの感度がお好みに合わないとき

ホコリセンサーの感度設定を変更できます。
（初期設定：普通）

1 運転中に本体の［運転切換/停止］を5秒間押す。

2 ［運転切換/停止］を押したまま、「ピッ」と音が鳴ったら、リモコンを本体に向けて［切タイマー］を押す。

● 「ピッ」と音が鳴り、風量ランプ（弱・標準・強）のいずれかが約5秒間点滅後、現在設定されている感度に対応するランプが点灯します。

3 本体の［運転切換/停止］で設定を変更する。

● 押すごとに風量ランプが切り換わり、感度が変更できます。
● 感度設定は風量ランプで表します。風量ランプが切り換わらない場合は、電源プラグを抜き、3秒以上待ってから電源プラグを差し込んで、もう一度最初から操作してください。

風量ランプ	感度	
強	**高い**	センサーが反応しやすくなります。
標準	**普通**	初期設定
弱	**低い**	センサーが反応しにくくなります。

4 設定変更後、リモコンを本体に向けて［切タイマー］を押す。

● 「ピッ」と音が鳴り、設定されたランプが点滅します。

ストリーマ放電の「シュー」という音やオゾンのニオイが気になるとき

ストリーマの出力を「低め」に設定できます。（初期設定：通常）
「低め」設定で運転すると脱臭能力が低下しますので、「通常」設定でのご使用をおすすめします。

1 運転中に本体の［運転切換/停止］を5秒間押す。

2 ［運転切換/停止］を押したまま、「ピッ」と音が鳴ったら、リモコンを本体に向けて［表示ランプ（明/暗/切）］を押す。

● 「ピッ」と音が鳴り、ニオイセンサーランプ（赤）が約5秒間点滅後、点灯します。

3 本体の［運転切換/停止］で設定を変更する。

● 押すごとに風量ランプ（しずか）の点灯・消灯が切り換わります。
● 風量ランプ（しずか）が切り換わらない場合は、電源プラグを抜き、3秒以上待ってから電源プラグを差し込んで、もう一度最初から操作してください。

ストリーマ出力を「**通常**」に設定	**風量ランプ（しずか）を消灯**させる。すべての風量でストリーマ運転します。
ストリーマ出力を「**低め**」に設定	**風量ランプ（しずか）を点灯**させる。風量によりストリーマ運転状態が変わります。（下表参照）

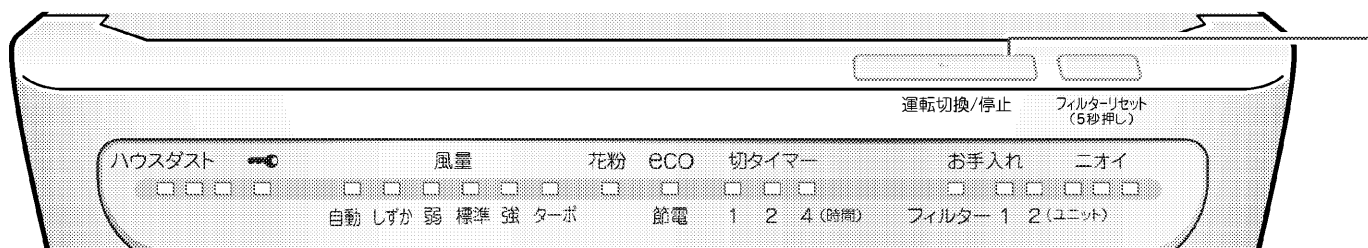
設定		ストリーマ
風量	しずか・弱	停止
	標準・強・ターボ	運転
	自動・花粉	風量により変化します
eco		停止

4 設定変更後、リモコンを本体に向けて［表示ランプ（明/暗/切）］を押す。

● 「ピッ」と音が鳴り、ニオイセンサーランプ（赤）が点滅します。「低め」に設定した場合は、風量ランプ（しずか）も点滅します。

5 設定されたランプが点滅したままの状態で一度電源プラグを抜き、3秒以上待ってからもう一度電源プラグを差し込む。これで設定完了です。

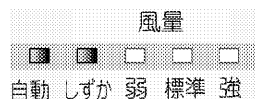
● この操作を行わないと通常運転モードには戻りません。

運転のしかた

運転を始める

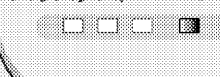
運転/停止
[○] を押す。

（初回表示例）

風量				
自動	しずか	弱	標準	強

- 運転が始まり、風量ランプが点灯します。
- 運転中に 運転/停止 [○] を押すと運転が停止します。
- 次回 運転/停止 [○] を押すと、前回と同じ内容で運転します。

チャイルドロック　お子様が誤って操作するのを防ぎたいとき

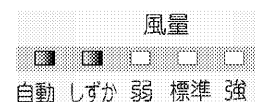
- チャイルドロック（2秒押し）[ ] を約2秒間押すと設定できます。
- 再度 チャイルドロック（2秒押し）[ ] を約2秒間押す、または電源プラグを抜き、3秒以上たってから電源プラグを差し込んで運転すると解除できます。

ハウスダスト

空気の汚れに応じて運転したいとき

風量「自動」運転

[自 動] を押す。

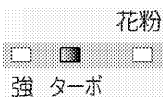
- 風量「自動」ランプとそのときの風量ランプが点灯します。

風量				
自動	しずか	弱	標準	強

お部屋の空気を早くきれいにしたいとき

ターボ運転

[ターボ] を押す。

花粉

強 ターボ

運転する時間を設定したいとき

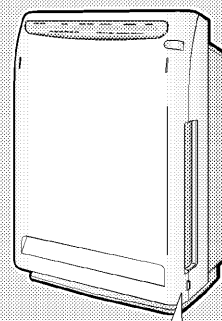
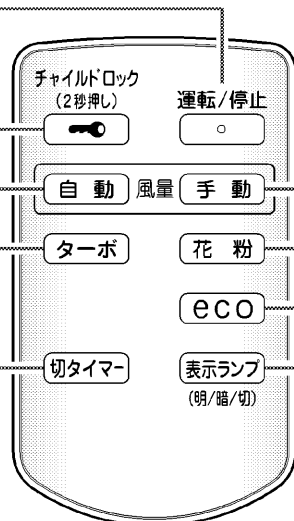
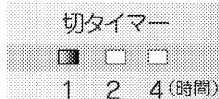
タイマー運転

[切タイマー] を押す。

- 押すごとに設定時間が切り換わります。

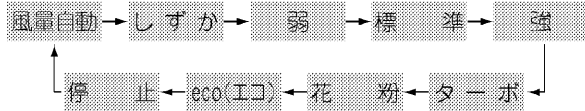
→1時間→2時間→4時間→切

切タイマー		
1	2	4(時間)

チャイルドロック（2秒押し）
運転/停止
[自 動] 風量 [手 動]
[ターボ]
[花 粉]
[eco]
[切タイマー]
[表示ランプ]（明/暗/切）

前面パネルが閉まっていることを確認してください。

本体でも運転することができます

[ボタン] を押す。
運転切換/停止

● 押すごとに運転モードが切り換わります。

風量をお好みで変えたいとき

風量「手動」運転

[手動] を押す。
● 押すごとに風量が切り換わります。

→しずか→弱→標準→強

風量			
しずか	弱	標準	強

花粉が気になる季節には

花粉運転

[花粉] を押す。

省エネ運転したいとき

eco(エコ)運転

[eco] を押す。
● eco運転ランプが点灯します。

花粉		eco
ターボ		節電

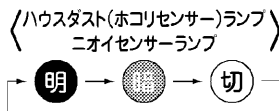
本体表示ランプの明るさを変えたいとき

[表示ランプ] を押す。
(明/暗/切)

● 押すごとに、本体表示ランプの明るさが切り換わります。
● ハウスダスト(ホコリセンサー)ランプとニオイセンサーランプのみ消灯し、それ以外のランプは消灯しません。

〈ハウスダスト(ホコリセンサー)ランプ ニオイセンサーランプ〉

お願い

● 運転中に電源プラグを抜いて運転を停止しないでください。
● 運転中に本体を動かさないでください。
故障や誤作動の原因になります。

お知らせ

● 運転中に前面パネルを開くと、安全のため運転は停止します。

■ **運転中に誤作動したとき**
運転中に雷や無線などにより本体表示部が異常点灯したり、リモコン操作が不能になったときなどは、一度電源プラグを抜き、3秒以上待ってからもう一度電源プラグを差し込んで運転を開始してください。

機能説明について

運転/停止
● 初期設定は、風量「自動」になっています。
● お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

風量「自動」運転
● 空気の汚れ具合に応じて、自動的に風量(「しずか」「弱」「標準」「強」)を調整します。
● 空気清浄能力は、風量が強くなるほど向上します。

ターボ運転
● 大風量で空気の汚れをすばやく取り除きます。
お部屋掃除のときに使用すると便利です。

しずか運転
● 微風運転となります。
就寝中などの使用をおすすめします。
● しずか運転の場合、脱臭能力が低下しますので、お部屋のニオイが取れにくい場合は「標準」以上でのご使用をおすすめします。

花粉運転
● 5分ごとに風量が「標準」⟷「弱」に切り換わり、ゆるやかな気流をおこして花粉が床に落ちる前にキャッチしやすくします。

eco(エコ)運転
● 空気の汚れ具合に応じて、「しずか」「弱」運転のみを自動的に調節します。
● 就寝中などに使用すると便利です。

タイマー運転
● タイマー設定表示部に残りの時間のランプが点灯します。
● タイマー運転中も設定時間を変更することができます。

チャイルドロック
● 設定中は本体・リモコンの操作を制限し、お子様が誤って操作するのを防ぎます。

お手入れ早見表

⚠ 警告

お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。
（感電やけがの原因）

お手入れの際の各部品の取外しは、数字の順番に行ってください。

1 前面パネル	2 プレフィルター	3 ユニット１（プラスマイオン化部）	4 ユニット２（ストリーマユニット）
		（上図は対向極板を取り外しています。）	
	取外し・取付けは ▶16ページ	取外し・取付けは ▶16ページ	
汚れが気になるとき ふき取り	**約2週間に１度** 掃除機 水洗い	**「ユニット１」ランプが点灯したら** つけおき ふき取り	**約3ヵ月に1度または「ユニット2」ランプが点灯したら** つけおき ふき取り
● 水で湿らせたやわらかい布などで汚れをふき取る。 ● 汚れがひどいときは、液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取る。 ● 硬いタワシなどを使用しない。	● 掃除機でホコリを吸い取った後、水洗いする。 ● 汚れがひどいときは、やわらかいブラシや液体中性洗剤を使って洗い、日陰でよく乾かす。 水滴が残っていると「ユニット1」ランプが点灯する場合がありますので、十分に乾かしてからご使用ください。	● 掃除機で表面のホコリを吸い取る。 ● ぬるま湯または水につけおきする。（約１時間） お手入れは ▶18, 19ページ ● 汚れが気になる場合は、ユニットランプが点灯していなくてもお手入れしてください。	

⚠ 警告

● ガソリン、ベンジン、シンナー、ミガキ粉、灯油、アルコールなどは使用しない。
（ひび割れ・感電・引火の原因）
● 本体を水洗いしない。
（感電や火災・故障の原因）

お願い

● 洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないようにふき取ってください。
● 50℃以上のお湯で洗わないでください。
● 直射日光のあたる場所で乾かさないでください。
● ドライヤーで乾かさないでください。
● 火であぶらないでください。
変色や変形を起こし、使用できなくなります。

プレフィルター・対向極板の取外し・
取付けは ▶16ページ を参照してください。
上記以外の取外し・取付けは ▶6, 7ページ を参照してください。

5 空清フィルター（プリーツフィルター）

空清フィルター
穴（左右各５ヵ所）
脱臭触媒ユニット
白色の面が手前

フィルターランプが点灯または点滅したら
交換

交換のしかたは ▶17ページ

お手入れ
フィルターランプ（橙色） フィルター 1 2

6 脱臭触媒ユニット

水洗いしない
表面をこすらない

約1ヵ月に1度またはニオイや汚れが気になるとき
掃除機 **水洗い不可**

- 掃除機でホコリを吸い取る。
- 枠の汚れが気になる場合は、水で湿らせたやわらかい布などでふき取る。
  汚れがひどいときは、液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取る。
- 水洗いはしない。
  （水洗いすると型くずれして使用できなくなります。）

7 バイオ抗体フィルター

別売品

開封後 約１年で
交換

交換のしかたは、「バイオ抗体フィルターの取付け」を参照してください。▶7ページ

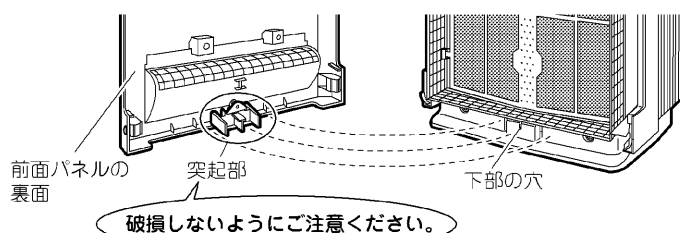
8 本体・センサー用空気取入れ口

ホコリセンサー用空気取入れ口
ニオイセンサー用空気取入れ口

ホコリなどがたまったら
掃除機 **ふき取り**

- 本体やセンサー用空気取入れ口にホコリなどがたまって目づまりしたら、掃除機などでホコリを吸い取る。
- 本体は水で湿らせたやわらかい布などで汚れをふき取る。

安全スイッチについて

- 取り外した前面パネルは、表面を傷付けたり、裏面の突起部が破損しないように注意してください。
  裏面の突起部は、パネルを開くと電源が「切」になる安全スイッチの役目をしています。
  破損すると、運転ができなくなりますのでご注意ください。

⚠ 警告

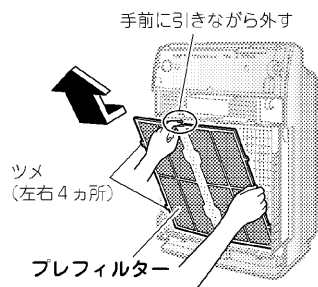
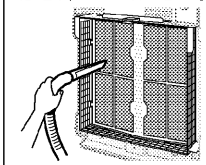
- 本体下部の穴の奥には触れない。
  （感電のおそれ）
- 誤って破損し、運転できなくなった場合は、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。▶裏表紙

プレフィルター・対向極板の取外し・取付け

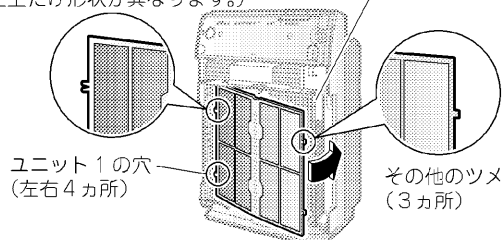
プレフィルターの取外し

1 **前面パネルを外す。** ▶6ページ

2 **プレフィルターを外す。**

- 上部の凹部に指を引っかけて手前に引き、ツメ（左右4ヵ所）をユニット1の穴（左右4ヵ所）から外す。

お知らせ
はじめに掃除機でホコリを吸い取ってから外してください。

プレフィルターの取付け

1 **プレフィルターを取り付ける。**

- ツメ（左右4ヵ所）をユニット1の穴（左右4ヵ所）に差し込む。

2 **前面パネルを取り付ける。** ▶7ページ

前面パネルが正しく装着されていないと安全スイッチが作動し、運転しない場合があります。▶15ページ

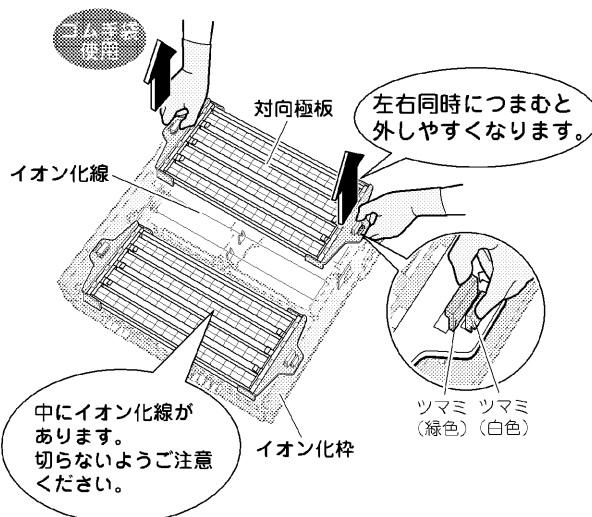
対向極板の取外し

1 **前面パネル、ユニット1を外す。** ▶6ページ

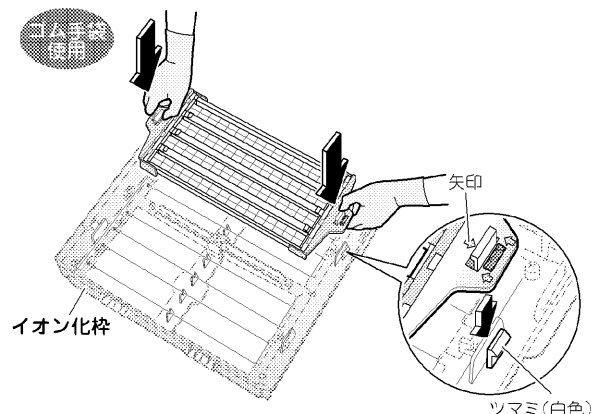
2 **ユニット1から対向極板を外す。**

⚠ 注意

対向極板の取外し・取付けの際は**ゴム手袋**を使用してください。対向極板、イオン化線で手を切るおそれがあります。

① 白色と緑色のツマミ（左右2ヵ所）を同時につまんで、対向極板を持ち上げて外す。

対向極板の取付け

対向極板には上下・左右の区別はありません。
矢印が見える状態で取り付けてください。

① イオン化枠のツマミ（左右2ヵ所）に対向極板を差し込む。

②「カチッ」と音がするまで確実に押し込む。

③ もう片方の対向極板も取り付ける。